

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月27日更新

事務事業名	熊本県治山林道協会参画事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康	所属部	事業部	課長名 塚本 健洋
	施策	18 住環境の充実	所属課	農政課	担当者名 西本 尚弘
施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全	所属班	農政班	(内線) 1174
予算科目	会計一般	款 6 項 2 目 1 事業連番 10199 根拠法令	熊本県治山林道協会定款		成果優先度評価結果 : ⑫
					コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	治山事業及び林道事業の拡充強化を図り、県土の保全と林業の振興に努め、もって、豊かで住みよい県づくりに寄与する事を目的に昭和54年10月に設立される。熊本県治山治水協会及び熊本県林道協会が合併して設立され、県内の全市町村が会員として参画している。平成13年に森林・林業基本法が制定され、森林・林業政策の方向性が、木材生産を中心としたものから、森林の持つ水源涵養・国土保全・地球温暖化防止等の多面的機能を持続的に発揮するものへと転換された。
【業務の流れ】	負担金支払 (負担金請求書受理、兼命令により支払)
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	会議等への出席	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		会議等への出席、負担金支払事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議等への出席回数	→ イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	職員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 市担当職員数 人
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	治山、林道事業等に関する情報を得ることが出来る。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 情報を得ることが出来た答えた職員割合 %
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
実際に業務として行なっているのが会議への出席と負担金の支払だから		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ									
② 対象指標	ア	人	1	1	4	4	4	4	4	4
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	10	10	10	10	10	10	10
		(A) 事業費計	千円	10	10	10	10	10	10	10
		(A)のうち指定経費	千円	10	10	10	10	10	10	10
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	2	4	3	4	4	4
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	10	12	4	35	4	4	0	0
	(B) 人件費計	千円	39	44	15	0	15	15	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	49	54	25	10	25	25	10	10

事務事業名	熊本県治山林道協会参画事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 職員相互で情報を共有する情報をことで達成できた。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 職員相互で情報を共有することで達成できた。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 新しい情報を得るために、成果の向上余地はある
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 会費の算定基準は、定款及び規定に定められており、変更には県総会の議決が必要であるため、合志市単独では削減できない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本協会は、市町村、森林組合等を会員として設立された団体であり、会議等出席や、負担金の支出など最低限の事務処理のため削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 県土の保全と林業の振興を図り、豊かで住みよい地域づくりに寄与することを目的としており、市民全体が受益を受けるため公正、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 県土の保全と林業の振興を図り、豊かで住みよい地域づくりに寄与することを目的としており、市民全体が受益を受けるため公正、公平であることを目的としているので、市の関与は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

会議等で得た情報を共有したり有効に使えるように取り組んだ。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策